

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県五ヶ瀬町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,503	3,771	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

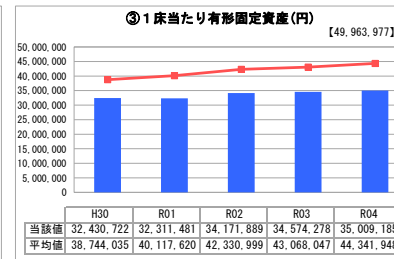
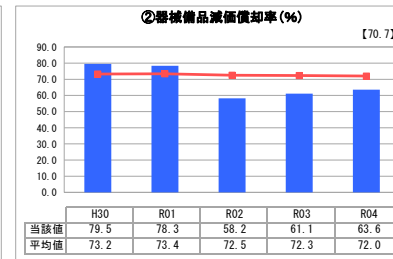
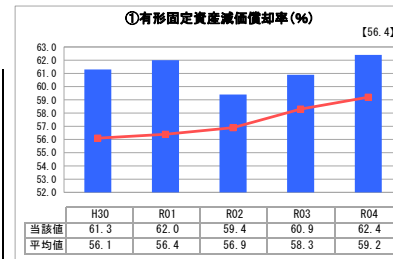
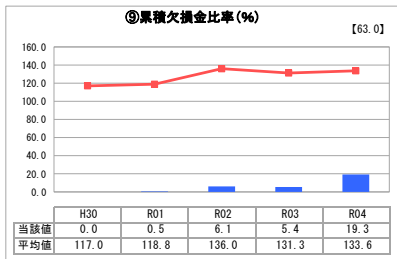
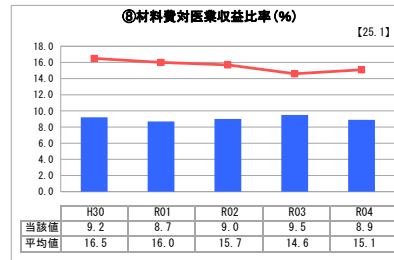
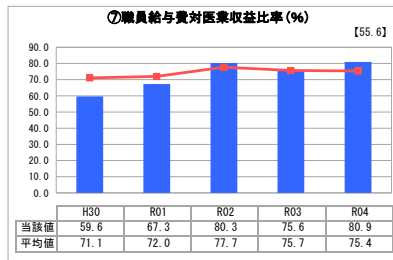
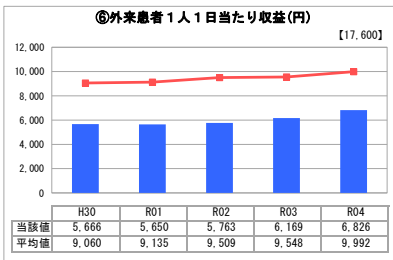
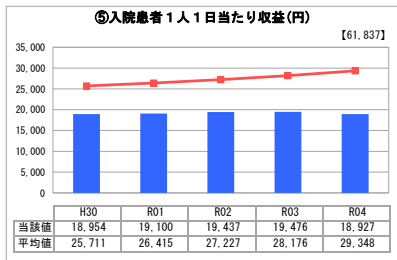
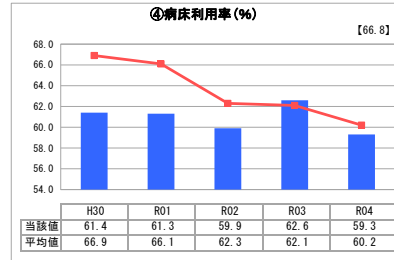
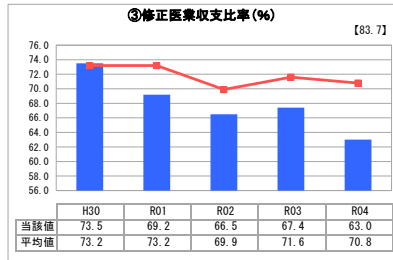
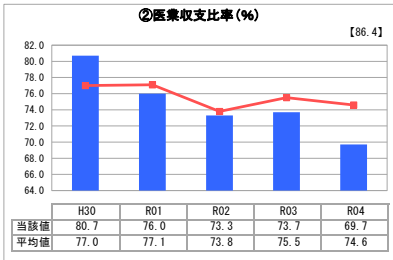
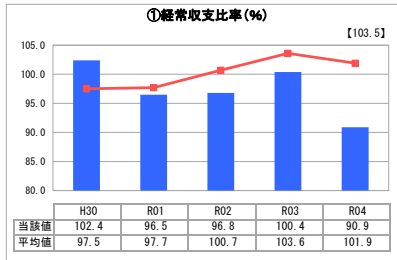
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
36	18	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	54
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
31	16	47

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (医師の確保・ネットワークを重視)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

I 地域において担っている役割

山間へき地である町の唯一の医療機関として、夜間休日問わず地域医療及び町民の命と健康を守る責務を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び医業収支比率ともに、入院患者の減少による医業収益の減少に加え、人件費及び医事業務委託料の増加による医業費用の増加が大きい。
病床利用率の減少は、人口減少に加え新型コロナウイルス感染症による軽症入院患者の入院の激減があった。
令和6年度からは西臼杵郡内の3医療機関の経営統合及び機能再編を行い、当院においては一般病床数の削減を行う。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕や入れ替えの費用が増加している。計画的な更新作業を進めているが、老朽化故に急な故障や破損等の対応が毎年発生している状況である。
医療機器備品についても、以前から高い減価償却が続いていたが、令和2年度に大きく機器の更新を行ったため、平均値を下回っている。

全体総括

人口の減少及び長引く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病床利用率が低い状況が続いている。費用の多くを占める職員給与については、基準を満たす職員の確保が必要のため、削減をすることは困難であるが、令和6年4月からの西臼杵3町の3公立病院の病床再編に向け、一般病床数の削減と介護医療院への転換を進めており、短いスパンでの病床数の検討が今後にも必要になってくる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。